

## 1 朝日町「教育に関する点検及び評価」について

### 1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第1項の規定に基づき、教育委員会では、その教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表する。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価は、平成26年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況を対象として実施した。

### 3 点検・評価の方法

点検・評価では、主な事業等の取組・進捗状況等により、課題等を分析し、今後の対応等を検討した。

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々から、様々なご意見、ご助言をいただいた。

(50音順 敬称略)

氏 名
林 清 唯
舟 橋 誠
水 島 真 湖

#### 【参考】「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務～略～の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 教育委員会の会議及び活動について

### 1 教育委員会の運営状況

#### (1) 教育委員

委員名簿（5名、任期4年）

（平成27年3月31日現在）

職名	氏名	委員就任期間・任期	備考
教育委員長	和泉 幸一	H23.10.1～H27.9.30	委員長 H26.10.24～
委員長職務代理者	瓜生 紘子	H24.10.24～H28.10.23	職務代理 H25.10.24～
委員	菅田 朗子	H26.3.24～H30.3.23	
委員	氷見 雅浩	H27.3.24～H31.3.23	
教育長	永井 孝之	H25.4.1～H27.3.31	H27.3.31 辞職

#### (2) 教育委員会の開催状況

朝日町教育委員会は、定例会を毎月1回開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。また、26年度においては、5、6、11月に町内の学校訪問も併せて実施しました。

①開催回数 定例会12回 臨時会2回

②会議に付された主な案件

- ・教育委員会重点施策について
- ・学校評価について
- ・平成27年度使用教科書の採択について
- ・スクールバスの運行等について
- ・奨学資金制度について
- ・図書館及び明治記念館整備事業について
- ・朝日町いじめ防止基本方針の策定について

その他、町議会に付議する案件や教育委員会規則等の制定改廃等が会議に付されました。

③会議の開催状況

	出席状況	主な審議内容
4月定例会 (4月24日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員の席次について</li> <li>・平成26年第2回朝日町議会定例会の所管事項について</li> <li>・平成26年度教育委員会事務局及び教育機関の組織について</li> <li>・平成26年度小中学校学級編制について</li> <li>・平成26年度小中学校管理職等一覧表について</li> <li>・朝日町小中学校児童数の推移について</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・学校訪問について</li> <li>・朝日町奨学学生願書、奨学学生推薦調書の様式について</li> </ul>
5月定例会 (5月19日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問（あさひ野小学校）</li> <li>・第21回記念“翡翠カップ”ビーチボール全国大会について</li> <li>・第61回下新川郡民体育大会について</li> <li>・平成25年度学校評価について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日町加藤・森島奨学資金給与規則の制定について</li> <li>・朝日町奨学生選考委員会規程の一部改正について</li> </ul>
6月定例会 (6月12日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問（さみさと小学校）</li> <li>・第21回記念“翡翠カップ”ビーチボール全国大会について</li> <li>・平成26年度学校評価システム推進事業計画について</li> <li>・平成26年第3回議会定例会における補正予算の提案について</li> </ul>
7月定例会 (7月23日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年第3回議会定例会の所管事項について</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・第21回“翡翠カップ”ビーチボール全国大会結果について</li> <li>・平成27年度使用教科書の採択について</li> </ul>
8月定例会 (8月27日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会について</li> <li>・第31回全国ビーチボール競技大会について</li> <li>・小学校運動会・中学校体育大会について</li> <li>・平成26年度全国学力・学習状況調査について</li> <li>・平成26年第5回議会定例会における補正予算の提案について</li> <li>・朝日町図書・明治記念館条例の制定について</li> <li>・朝日町図書・明治記念館条例施行規則の制定について</li> </ul>
9月定例会 (9月29日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年第5回議会定例会の所管事項について</li> <li>・第31回全国ビーチボール競技大会について</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・第35回朝日町美術展について</li> <li>・教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について</li> </ul>
10月定例会 (10月23日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙第1号 教育委員長の選任について</li> <li>・指定第1号 委員長職務代理者の指定について</li> <li>・教育委員の席次について</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・生涯学習フェスティバル及びあさひ芸能文化祭について</li> <li>・富山県駅伝競走大会及び町民駅伝競走大会について</li> <li>・図書・明治記念館の竣工式について</li> <li>・教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について</li> </ul>
11月定例会 (11月20日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問（朝日中学校）</li> <li>・施設訪問（朝日町図書・明治記念館）</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・冬季スクールバスの運行について</li> <li>・朝日町美術展について</li> <li>・生涯学習フェスティバル及びあさひ芸能文化祭について</li> <li>・富山県駅伝競走大会及び町民駅伝競走大会について</li> <li>・朝日町図書・明治記念館条例の施行期日を定める規則について</li> <li>・朝日町図書・明治記念館条例施行規則の制定について</li> <li>・朝日町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について</li> </ul>
12月定例会 (12月25日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年第5回議会定例会の所管事項について</li> <li>・平成27年朝日町成人式について</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・平成27年度入学期日等の通知について</li> </ul>
1月定例会 (1月26日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年朝日町成人式の実施結果について</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・町民スキー大会、郡民体育大会スキー競技会について</li> <li>・朝日町いじめ防止基本方針の策定について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度卒業式、平成 27 年度入学式について</li> </ul>
2 月定例会 (2 月 20 日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民スキー大会、郡民体育大会スキー競技会の結果について</li> <li>・平成 27 年度教育委員会関係予算案について</li> <li>・教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について</li> <li>・平成 27 年度朝日町教育委員会重点施策について</li> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う朝日町教育委員会の対応について</li> </ul>
3 月臨時会 (3 月 16 日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日町教育委員の辞職の同意を求める件</li> </ul>
3 月定例会 (3 月 20 日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年第 2 回議会定例会の所管事項について</li> <li>・全国大会出場について</li> <li>・平成 27 年度朝日町教育委員会重点施策について</li> <li>・朝日町心身障害児就学指導委員会規則の一部を改正する規則について</li> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について</li> <li>・朝日町教育委員会教育長の給料その他の給与及び旅費支給条例一部改正について</li> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則について</li> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規程の整理に関する規程について</li> </ul>
3 月臨時会 (3 月 30 日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日町教育委員会行政組織規則の一部改正について</li> </ul>

### (3) 研修会等への参加

教育委員研修会への参加を通して、教育委員の資質の向上を図りました。

・ H26.6.2 富山県市町村教育委員会連合会第 1 回研修会

文部科学省職員による講演「地方教育行政制度改革の概要」を聴講し、意見交換を行いました。

・ H26.9.30 富山県市町村教育委員会連合会「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う」研修会

文部科学省職員による講師による研修会に参加しました。

・ H26.10.16 富山県市町村教育委員会連合会第 2 回研修会

南砺市文化・世界遺産課長山森伸正氏による講演「南砺の文化財建造物」を聴講し、城端曳山会館、城端別院善徳寺を視察しました。

### 3 主な事務事業と評価

#### I 家庭・地域教育

##### ■施策目標

少子化が急速に進む当町にあって、子どもを取りまく環境の変化は著しい。保護者の子育てに対する考えは多様化し、家庭や地域社会の教育力の低下も問題となっている。

そこで、子どもの成長を支える基本的な生活習慣を身につけることを推進する。また、地域における人々とのふれあいや豊かで美しい自然を体験するなどの多様な活動を通して、子どもたちの心の豊かさや社会性を育む。

##### ■取組み概要

- ①家庭・地域教育
- ②地域活動への参加

##### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
	就学时健康診断等の機会を利用した家庭教育に関する学習会	新1年生に入学する児童に対して、11月に開催している就学时健診時に、家庭教育に関する学習会を学校と連携して実施しました。	—
	朝日町民講座(富山県立大学市町村連携公開講座)	県立大学の先生を講師として招き、「子どもと教育」をテーマに小学校保護者を中心に実施しました。 日時 11月11日 参加者数52名 講師：富山県立大学地域協働支援室 COC統括コーディネーター 奥田 實 氏 題目：家庭教育で大事なこと	—
①	朝日町児童クラブ連合会活動補助 (住民・子ども課主管)	子どもの健やかな心と体を育むため、親子や地域の方々の世代間のふれあいや交流の機会を増やす取組みに対して補助を行っています。 ◆会員数 365人(大人128人、子ども237人) ◆事業内容 6月 親子ふれあいフェスティバル 7月 宿泊交流 in かみいち 8月 田んぼの生き物調べ 11月 子どもビーチ in ASAHI 1月 このゆびとまれ「国立立山青少年自然の家での宿泊学習」 2月 百人一首大会 ◆指導者研修 富山県児童クラブ連合会主催の指導者講習会、指導員養成講習会	252
	放課後子ども教室 (住民・子ども課主管)	地域における健やかな子どもの育成及び放課後における児童の安全な居場所づくりの確保とともに、子どもたちが興味をもって学ぶことができる環境づくりを図りました。 ◆実施校 あさひ野小学校 ◆実施日数：31日 ◆参加児童数：延べ人数 647人	449

	子どもの居場所づくり事業（住民・子ども課主管）	自治振興会では、多様な形で取り組む自主的な放課後等の子どもの居場所づくり事業を実施しています。 〈宮崎地区〉 開設日数 143日（4月～3月） ◆登録児童数 9人 延べ人数 362人 〈五箇庄地区〉 開設日数 113日（4月～3月） ◆登録児童数 35人 延べ人数 265人	1,212
	放課後児童クラブ（住民・子ども課主管）	保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、自主性及び社会性の向上や、放課後における児童の安全な居場所づくりの確保を目指しました。 〈あさひ野っ子放課後児童クラブ〉 開催日数 250日 ◆登録児童数 57名 延べ人数 5,715人	6,485
	PTA 連絡協議会活動補助	多様化、複雑化する社会構造の中で、子どもたちの「生きる力」を育み支える PTA 活動を推進するため、町 PTA 連合会が実施する活動に対して補助を行っています。	135
	とやま親学び講座	家庭、地域、学校、行政が協力して「親を学び伝える学習プログラム（親学び）」を推進するため、各学校で講座を開催しました。 ◆小中学校 3校 6講座開催	—
②	三世代交流事業	豊かな自然・伝統文化に関する学習や地域の人々との交流を通して郷土に誇りを持ち、「朝日町を愛する子ども」を育成するため、各地区公民館にて、世代を超えて地区の伝統芸能の継承や清掃活動などの「三世代交流事業」を実施しています。 ◆100千円×10地区公民館	1,000

## ■成果と課題

- ① 就学時健康診断の際に、家庭教育に関する学習会を学校と協力して実施しており、今後とも、子どもの人間形成の基礎を培う家庭の教育力の向上を図っていきます。

平成24年度から行っている富山県立大学市町村連携講座「朝日町民講座」を今年度も実施し、「家庭教育で大事なこと」と題して、変化の激しい現代社会において、より豊かな生活を営むために必要な学びについての公開講座を行いました。子どもにとって大切な家庭教育についての講義であり、今後この事業を継続していきたいと思えます。

児童クラブ連合会が実施している親子ふれあいフェスティバル、子どもビーチ in ASAHI などの各事業においては、各地区単位児童クラブの協力もあり、円滑に運営されており、実人数で298名の参加がありました。また、単位児童クラブの活動では、地域公民館と共同で、町が実施している町民清掃デーへの参加や伝統芸能の継承など、積極的に活動されており、今後とも地域活動への補助を行うなど、その活動の充実を図っていきます。

「放課後子ども教室」については、放課後における子どもたちの安全な居場所づくり、地域住民との交流のほか、子どもたちが興味をもって学ぶことができる環境づくりを目的として実施してきました。子どもたちはいろいろなことを体験や交流を通して、心の豊かさや社会性を深めており、実施日数は31日で、参加児童数は延べ人数で647人でした。

地域ぐるみの子育て支援策である「子どもの居場所づくり事業」は、宮崎、五箇庄地区の2地区で、自治振興会が主体となって実施されており、それぞれカルチャーセンターみやざき、五箇庄コミュニティセンター彩の里を放課後等に児童に開放

し、地域の方に児童の遊びを見守る世話人となっていただき、放課後の児童の居場所を確保しています。

「あさひ野っ子放課後児童クラブ」あさひ野小学校校下で保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後における児童の安全な居場所づくりの確保や自主性及び社会性の向上を目的とし実施しており、あさひ野小学校のミーティングルーム等を利用し、児童は宿題をしたり自由に遊んだり、「さんさんタイム」としてスポーツ、将棋、工作教室などを週一回程度行っています。

なお、「児童クラブ連合会」、「放課後子ども教室」、「子どもの居場所づくり事業」及び「放課後児童クラブ」については、住民・子ども課が主管となって事業を実施しており、今後とも住民・子ども課との連携を図り、児童生徒の健全育成に努めていきます。

町PTA連絡協議会では、町内の小・中・高校合同による「朝日地区さわやか運動」、「ふるさとの大クリーン作戦」などを実施しており、今後とも補助を行っていきます。

親学び講座は平成25年度から県がとやま親学び推進協議会を設置し、各市町村にとやま親学び推進リーダーも配置され、本格的に推進事業が始まりました。各小中学校において、推進リーダーやPTAと連携し、懇談会などで子育てについて保護者が話し合い学ぶ講座を実施しました。

- ② 「三世代交流事業」については、各地区公民館で地域の伝統芸能の伝承を通して子どもから高齢者までの特色ある世代間交流を行っており、今後とも取り組んでいきます。

また、各地区の活動内容について「あさひ生涯学習フェスティバル」などで発表するなど情報提供に努めました。

## II 学校教育

### ■施策目標

学校教育においては、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成とともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得や、思考力・判断力・表現力の育成及び学習意欲の向上が重要であることから各学校においてはこれらを総合的に育むと同時に、児童生徒、保護者、地域の期待に応えることのできる学校を目指し、開かれた学校づくりを推進していく。

### ■取組み概要

- ①学校施設等の整備・充実及び安全対策の実施
- ②就学援助の充実
- ③特色ある学校づくりと創意ある教育課程の展開
- ④児童・生徒の健康及び安全の充実
- ⑤教育研究の推進及び教職員研修の充実

### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	学校施設整備補修事業	児童生徒の安全を第一とし、校舎の修繕をはじめ、時代に即した教育環境の整備を図るとともに、児童生徒が楽しく、安心して学校生活を送れるよう施設設備の安全管理に努めました。 ◆小学校：2校 53件 ◆中学校：1校 8件	3,693 421
	学校管理・教材教具整備事業	管理用備品・教材用備品・特別支援学級用備品・給食用備品等の整備 ◆小学校 ◆中学校	4,545 3,273
	あさひ野小学校 図書室・なかよしルームエアコン工事	あさひ野小学校の図書室及びなかよしルームにエアコンを設置する工事を行いました。	1,188
	あさひ野小学校 プールサイドコーキング工事	あさひ野小学校のプールサイドのコーキングを打替える工事を行いました。	746
	あさひ野小学校 緊急地震速報受信装置設置工事	あさひ野小学校の緊急地震速報受信装置を設置する工事を行いました。	296
	さみさと小学校 砂場改修工事	さみさと小学校の砂場を改修する工事を行いました。	1,080
	旧笹川小学校プール解体撤去工事	旧笹川小学校のプール解体撤去工事を行いました。	5,551
	朝日中学校 体育館天井等落下防止対策工事	朝日中学校体育館の天井の落下防止対策工事を行いました。	37,181

	朝日中学校 調理室床・配管修繕工事	朝日中学校の調理室の床及び配管の修繕工事を行いました。	1,301
	朝日中学校 校舎網戸設置工事及び窓枠変更工事	朝日中学校の校舎の窓枠を変更する工事を行い、併せて、網戸の設置を行いました。	1,155
	朝日中学校 緊急地震速報受信装置設置工事	朝日中学校の緊急地震速報受信装置を設置する工事を行いました。	296
	校務支援員配置事業	施設・備品の簡易な修繕等や樹木の整枝作業を行う校務支援員を配置し、施設環境の整備を行いました。	2,293
	スクールバス運行事業	◆小学校：中型バス 2台 マイクロバス 4台	15,120
		◆中学校：中型スクールバス 1台 ※冬期は中型バス1台を追加	3,696
②	準要保護児童生徒就学援助特別支援教育就学奨励	教育機会の確保を図るため、就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を実施しました。 ◆平成26年度：小学校46名、中学校34名	6,529
	加藤・森島奨学金給付	高校生及び大学生への奨学資金制度の有意義な運用に努め、将来地域を担う人材の育成を図りました。 ◆平成26年度：高校生5名、大学生等3名	1,020
	体操服支援事業	子どもの心身の健全な育成を図るため、体操服購入に対する支援を通じて、子育て世帯の負担軽減を図りました。 ◆あさひ野小学校新1年生 22人 さみさと小学校新1年生 49人	972
③	地域講師活用事業	地域の人材を講師に招聘して、将棋や茶道、卓球等クラブ活動の充実やゲストティーチャーを導入して総合的な学習の時間や道徳の時間の充実を図りました。 ◆平成26年度：地域講師・ゲストティーチャー あさひ野小：社会科授業講師、将棋クラブ さみさと小：クラブ活動（卓球、バドミントン、茶道、パルーンアート） 朝日中：性指導	小学校 24 中学校 10
	学力向上市町村教育委員会プラン研究事業	平成19年度に策定された「とやま型学力向上プログラム」を踏まえ、「確かな学力」の育成のための実践研究と当プログラムの検証改善を推進し、その成果の普及を図りました。 実施校：あさひ野小学校、朝日中学校	400
	観察実験アシスタント派遣事業	小学校の理科の観察・実験を支援する補助員の派遣	291
	小学校英語活動推進事業	英語教育非常勤講師の配置	618

	外国青年招致事業	外国語指導助手（ALT）の配置	5,263
	14歳の挑戦事業	規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指し、学校外で職場体験や福祉・ボランティア活動などを行いました。 ◆朝日中学校2年生（111名） 協力事業所：27箇所	395
	中高連携交流推進事業	教科交流、部活動交流、教育講演会、ピアサポートセミナー	2,459
	スポーツエキスパート派遣事業	部活動においてスポーツエキスパート事業を活用して、顧問と指導者が連携を図りながらスポーツの専門的な技術指導を行いました。 ◆指導者：7名 朝日中学校：バスケットボール、バドミントン、柔道、陸上競技、卓球、野球、剣道	349
	スタディ・メイト配置事業	特別支援スタディ・メイトの配置を図りながら、特別な支援が必要な児童生徒への教育体制を整備して、個々の実態に応じた適切な教育を推進しました。	小：5,341 中：658
	学力向上支援サポート事業	朝日中学校において、大学との連携・協力のもと、大学生の教員志望者を「学習サポーター」として活用する学習活動サポート事業を実施し、学習相談やつまづきの解消、学習意欲の向上を図りました。 ◆大学生：8名、延べ194時間	303
④	児童（生徒）・教職員健康管理事業	小・中学校の1年生を対象に心電図による心臓検診、中学生に貧血検査、小学校5年生及び中学校1年生を対象に脊柱側湾症検診を実施し、児童生徒の健康保持に努めました。また、教職員の成人病検診も実施しました。	小：1,948 中：1,263
	スクールガードリーダー配置事業	防犯の専門家や警察官OB等に委嘱し、各小学校を巡回し、安全対策の指導や不審者のパトロールを行いました。	98
⑤	教育センター運営事業	教職員研修、教材の開発、学習活動研修等を実施した他、保護者からの教育相談（1件）にも当たりました。また、いじめ防止対策推進法の制定により、いじめ防止基本方針を策定しました。 (H26いじめ認知件数：3件)	9,034
	内地留学派遣事業	中学校教諭1名を3箇月間大学に派遣しました。	216

## ■成果と課題

- ① 児童生徒及び地域住民の安全を確保するために、全小中学校に設置してあります

AED機器の更新を行いました。

あさひ野小学校の図書室及びなかよしルームにエアコンの設置を行い、より快適な学校生活が行えるよう施設環境の整備を行いました。このほか、町内小学校の経年劣化による施設の整備を行い、教育環境の向上に努めました。

旧笹川小学校プールについては施設の荒廃のため、笹川地区から解体撤去の要望があり、解体撤去工事を行いました。

朝日中学校については、防災機能強化を目的として、体育館の吊り天井の撤去を行い落下防止対策を推進しました。このほか、老朽化の進んでいた調理室の床及び配管の修繕や校舎窓枠の変更に併せ、網戸を設置しました。

また、朝日中学校及びあさひ野小学校については、緊急地震速報受信装置の設置を行い、児童、生徒及び職員等の安全確保に努めました。

スクールバスについては、通年のスクールバスのほかに冬期のスクールバスの運行を行い、登下校時の安全確保に努めました。なお、スクールバスに係る経費の節減を図るため、中学校冬期スクールバスの運行委託を廃止し、運行については、マイクロバス1台を使用し、通年運行と同じく、スクールバス運転手による運行としました。

- ② 教育機会の確保を図るため、準要保護や特別支援教育を受ける児童生徒の就学への援助や奨励を行うとともに奨学金制度の周知と適正な運用を行い、地域を担う人材の育成に努めました。

子どもの心身の健全な育成を図るため、体操服購入に係る支援を通じて子育て世帯の負担軽減に努めました。

- ③ 校区の特徴や地域の伝統文化を生かすなど、特色ある学校づくりを目指し、地域の人材を講師に招き将棋や卓球等クラブ活動を充実したほか、社会科授業や性指導のゲストティーチャーを依頼するなど、総合的な学習の時間や道徳の時間の充実を図りました。今後も郷土を愛する児童生徒の育成のためにも地域人材の方々との連携事業が必要です。

学力向上市町村教育委員会プラン研究事業では「確かな学力」育成のための実践研究と当プログラムの検証改善を推進し、その成果と普及を図りました。学力向上のため今後も継続して実践研究を図る必要があります。

理科の授業や実験の準備を行う観察実験アシスタントを小学校へ派遣し、理科教育における観察や実験の充実に努めました。

小学校の外国語活動においては、外国語指導助手（ALT）や非常勤講師として委嘱した地域の英語が堪能な方から聞く・話すを中心に英語を使ってコミュニケーションすることの楽しさを知るとともに、言語や文化に慣れ親しむ学習の充実に努めました。

スタディ・メイト配置事業では配置人員を増員し特別な支援が必要な児童生徒への教育体制を整備し個々の実態に応じた適切な教育を推進しました。学校からの配置の要望も多いため、今年度より中学校へ新たに1名の配置を行いました。今後もスタディ・メイトの人材の確保と育成を図る必要があります。

- ④ 小・中学校の1年生を対象に心電図による心臓検診、中学生に貧血検査を実施し、児童生徒の健康保持に努めました。特に、心疾患等が疑われる児童生徒に対しては、全教職員がこれらの情報を共有し、安全に学校生活を送られるよう努めました。また、児童生徒及び教職員に対し、麻しんの罹患歴や予防接種歴の調査を行い、把握に努めました。さらに、小学校5年生と中学校1年生を対象に整形外科医による脊柱側弯症検診を新たに実施し、専門医による詳細な検診の実施により、脊柱側弯症疑いの早期発見に努めました。

食物アレルギーについては、就学時健診の調査票等で早期の実態把握に努め、学校給食においては、食物アレルギーを持つ児童生徒に対して除去食や代替食の対応

を行いました。また、学校において適切な対応を図るため全教職員を対象とした研修会を実施し、食物アレルギーやアナフィラキシーに対する理解を深めました。

学校においては、施設設備の安全点検、通学を含めた学校生活や日常生活における安全指導、職員の研修などを実施しました。危機管理マニュアルの内容確認を行うとともに児童生徒には日々の生活の中で危険を予測して、安全な行動がとれるように危険回避能力の育成を継続的に行う必要があります。

犯罪等の危険から児童生徒を守るため「こども110番」の家の周知や、スクールガードリーダーによる巡回を行うとともに、不審者情報等については、安全情報メールを保護者に通知するなど安全で安心できる環境づくりに努めました。

- ⑤ 郷土を愛する児童生徒の育成のため郷土の自然文化や社会など地域に根ざした教育を進める研修に努めました。児童生徒の実態や地域の特色を踏まえた校内研修や、実践的な指導力を高める研修の継続が必要です。

教員の資質の向上については、教員一人ひとりが使命感や倫理観、人間性を高めるとともに県や関係機関と連携を図りながら研修等を実施し、教師の質の向上を図っていく必要があります。

いじめ防止対策推進法の制定により、学校及び町いじめ防止基本方針を策定しました。児童生徒にとって、学校が楽しく充実しているという実感が得られるような教育活動を推進することが、いじめの未然防止の原点であるとの認識のもと、いじめに対する理解をより深めるための研修や学校、保護者、教育委員会の連携を深めていくことが必要です。

### Ⅲ 生涯学習

#### ■施策目標

町民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るため、その生涯にわたって生きがいや健康の保持・増進、生活の質的向上を目指す積極的な学習活動を支援し、自主的な学習への意欲を喚起する。

#### 1 生涯学習の推進

##### ■取組み概要

- ①学校教育との連携
- ②生涯学習団体の育成と連携
- ③生涯学習施設・環境の充実

##### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	早稲の香俳句会事業	<p>社会の変化に主体的に対応できる個性豊かな人づくりを図るため、学校教育と生涯学習の連携を推進する事業として、「早稲の香俳句会」を実施しました。</p> <p>俳句会では、実行委員が講師となり、小中学校で俳句の授業を行う「出前講座」や、奥の細道の名句を20句覚える「暗誦運動」の取組みを行いました。</p> <p>また、町に縁のある芭蕉に因んで小学生、中学生、高校生、一般から俳句を募集しました。</p> <p>◆投句数：2,416句 ◆出前講座：2校7回 さみさと小学校5～6年生 あさひ野小学校4～6年生</p>	300
	JFA「夢の教室」	<p>子どもたちに、「夢を持つこと」の大切さを伝え、「仲間を尊重すること」の意味を感じてもらい、「フェアプレー精神」の真の意味を理解してもらうことを目的に日本サッカー協会の協力を得て、こころのプロジェクト「夢の教室」事業を10月9日～10日に、バレーボール元全日本代表の大山加奈氏を招いて実施しました。</p> <p>◆実施学校等：さみさと小学校5年生2クラス あさひ野小学校5年生1クラス</p>	407
	友好都市交流事業	<p>友好都市岩手県釜石市に中学生を10人派遣して、交流・ふれあいを通じて相互の理解と将来に向けた友情を育むことを目的に実施しました。</p>	651
	朝日町高等学校海外研修事業	<p>教育、学術・文化・スポーツなどの分野における交流、視察を通じて、生徒の学力、資質の向上につながる海外研修に対し、町より補助金を交付し支援しました。</p> <p>◆泊高等学校 台湾台北 12月8～11日</p>	270
	学校への図書司書の派遣	<p>小・中学校に必要な本の選書、台帳整理のほか、児童・生徒から質問等に対応するなど、読書に親しむ環境づくりのために、週1日各小・中学校へ図書司書を派遣しました。</p>	1,449

②	生涯学習支援事業	<p>少子高齢化の進展やライフスタイルが多様化する中で、心のゆとりと自己の充実を図り、豊かな生活の実現のため、各種の講座・教室を行いました。</p> <p>◆公民館講座 10 地区 2,300 千円 ◆公民館シニア知的生活教室 10 地区 720 千円 ◆町民講座 130 千円</p>	3,150
	生涯学習フェスティバル	<p>生涯学習の推進を図るため、生涯学習団体の育成と相互の連携を推進する事業として、「生涯学習フェスティバル」を昨年に引き続き開催しました。</p> <p>町内で活動している生涯学習団体や地区公民館による、俳句、折り紙、絵手紙、押し絵、生花アレンジメント、パッチワーク等の作品のほか、朝日中学校の児童生徒の作品を展示するとともに、昨年度に引き続きハトムギ協議会のパネル展示・ハトムギ茶試飲を実施しました。平成 26 年度は、町制施行 60 周年記念事業秋の合同イベント「かがやけ☆朝日」として行われた。会場では、飲食コーナーや菊花展、伝統芸能の発表などが行われた。</p> <p>◆実施日 11 月 1 日・2 日 ◆参加団体 20 団体 来場者 5,000 人</p>	14
③	図書館及び明治記念館整備事業	<p>新図書館建設及び明治記念館（行在所）整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監理業務委託、蔵書物運搬委託</li> <li>・図書館及び明治記念館建設費、事務費</li> <li>・外構工事、イントラネット移設・接続他工事</li> <li>・用地取得、既存建物解体、プレハブ工事</li> <li>・図書館施設備品</li> </ul> <p>◆年間図書館来館者数 36,392 人（前年 12,720 人） ◆年間貸出数 個人 38,262 冊（前年 33,220 冊）                   団体 775 冊（前年 1,197 冊）                   相互貸貸出 419 冊（前年 552 冊）</p>	621,670
	一般図書、児童図書の整備	<p>図書館の開館に合わせて、一般図書、児童図書の整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書購入 6,503 冊</li> </ul> <p>◆保有図書数 101,266 冊</p>	10,683
	視聴覚資料の整備	<p>図書館の開館に合わせて、視聴覚資料の整備を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚資料購入 1,433 点</li> </ul>	7,097

## ■成果と課題

① 「早稲の香俳句会」については、俳句を通じて地域の歴史に親しみ個性豊かな人づくりの機会となっております。学校の先生ではなく地域の俳句講師から学ぶ「出前講座」は、学校教育と生涯学習の連携及び学校と地域との交流を推進しております。今後は、子どもたちの俳句への興味が増すように、趣向を凝らした事業の展開を図っていきます。

JFA「夢の教室」については、子どもたちに、「夢を持つこと」の大切さを伝え、「仲間を尊重すること」の意味を感じてもらい、「フェアプレー精神」の真の意味を理解してもらうことを目的に、日本サッカー協会の協力を得て、バレーボール元全日本代表大山加奈氏を講師に招いて実施しました。子どもたちが心豊かに成長していくよい機会となっております今後とも事業を継続してまいります。

友好都市岩手県釜石市との中学生交流事業を実施し、交流地域の文化や歴史を知ること、自分の住んでいる町を再認識することや、同世代との交流を通じて友情を育むなど、多くのことを学ぶ機会となりました。

学校における図書司書の配置については、小・中学校に週1日派遣し、本の選書、図書台帳の整理、本の修理を行うとともに、生徒からの質問に対応したことにより、それぞれの学校において図書館を利用する児童・生徒が増えました。また、小学校では読み聞かせを実施しており、引続き、図書に親しむ環境づくりに努めたいと考えています。

② 「生涯学習フェスティバル」については、町内で活動している生涯学習団体や地区公民館の活動発表の場として定着しており、俳句、折り紙、絵手紙、押し絵、生花アレンジメント、パッチワーク等の作品のほか、朝日中学校の児童生徒の作品を展示するとともに、昨年度に引き続きハトムギ協議会のパネル展示・ハトムギ茶試飲を実施しました。平成26年度は、町制施行60周年記念事業秋の合同イベント「かがやけ☆朝日」として行われ、会場では、飲食コーナーや菊花展、伝統芸能の発表などが行われました。来場者数は、合同イベントとして実施したこともあり、昨年度の約4倍の来場者があった一方で、合同イベントとして実施したことにより、生涯学習フェスティバルで使用できるスペースが限られており、体験コーナーが実施できなかったため、単独で実施する来年度より体験コーナーについても充実させていきます。

③ 移動図書館については、図書館から遠い地区を定期的に廻るとともに、65歳以上の高齢者及び障害者を対象とした、電話やFAXによる図書配送予約を受ける「配本サービス」を行い、利用者数の増加に努めています。今後については、利用者の要望に沿った選書や住民へのPRを工夫し、今まで以上に利用の拡大を図っていきます。

新図書館の建設については、基本・実施設計の実施及び商工会館解体、図書館及び明治記念館整備事業の建設工事に着手しました。また、平成24年度に引続き、緊急雇用創出事業を活用し、蔵書のデータ入力、郷土資料の整理・データ入力を実施しました。

## 2 家庭・青少年教育の充実

### ■取組み概要

- ①学習機会の提供
- ②世代間交流の促進
- ③青少年の健全育成の促進
- ④生涯学習団体との連携

### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	家庭教育に関する学習会	※「I 家庭・地域教育」の「①家庭・地域教育」に記載。	—
②	三世代交流事業	※「I 家庭・地域教育」の「②地域活動への参加」に記載。	—

③	成人式	<p>満20歳を迎えた青年が大人になったことを自覚するとともに、希望に燃える門出となるよう成人式を挙りました。</p> <p>◆成人者数：128名 ◆参加者数：112名</p>	610
	有害図書等の立入調査	有害図書等・有害情報への対応として、年に2回、警察等関係団体とコンビニエンスストア、書店に立入調査を実施しました。	—
	青少年育成朝日町民会議 (住民・子ども課主管)	<p>町内における少年の非行を防止するため巡回活動を通し、青少年の健全な育成に取組みました。</p> <p>◆期間 6/30～3/31 (活動日数：16日)</p> <p>6月 全体会議 鬼遠まつり・あさひまつり会場巡回 夏休み前期・後期・冬休み・春休み巡回 協調月間(11月)巡回、街頭啓発活動</p>	—
	朝日町「社会を明るくする運動」推進委員会 (住民・子ども課主管)	<p>犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための活動を「社会を明るくする運動」推進委員会を中心に実施しました。</p> <p>6月 「社会を明るくする運動」推進委員会 7月 JR泊駅街頭宣伝、研修大会</p>	—
④	あさひわんぱく遊びサークル事業 (住民・子ども課主管)	<p>自然や社会の中での実体験を通して「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域社会・青少年サポート団体などが相互に連携する事業として、町内の小学校3年生から6年生を対象に、自然体験活動やスポーツをする機会を子どもたちに提供する「あさひわんぱく遊びサークル」事業を開催しました。</p> <p>◆会員登録数：14名 ◆事業内容</p> <p>5月 バス釣り体験 6月 パークゴルフ体験 10月 自然のアート制作体験 11月 クレヨン作り体験 1月 地元食材でお菓子作り 2月 棚山でスノーシュー体験</p>	97

## ■成果と課題

- ① 家庭教育に関する学習については、※「I 家庭・地域教育」の「①家庭・地域教育」に記載。
- ② 三世代交流事業については、※「I 家庭・地域教育」の「②地域活動への参加」に記載。
- ③ 「成人式」は、新成人者から運営委員を募り、企画・運営から式典まで携わっていることもあり、厳粛に行われています。今後も新成人者と連携し、青年の新しい人生の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促す成人式を実施していきます。

青少年の健全育成については、健全な成長を阻害する有害図書・有害情報等への対応、若年齢層の薬物使用などが全国的に問題となっており、こうした青少年を取り巻く社会環境を整備するため関係課局や諸団体と連携し健全な青少年の育成に努

めてまいります。

- ④ 「あさひわんぱく遊びサークル」事業については、地域の各種団体の協力を得ながら児童の健全育成を図るため、教育委員会も協力していきたいと考えています。

### 3 男女共同参画社会の促進

#### ■取組み概要

- ①男女平等意識の啓発
- ②家庭・地域への男女共同参画の推進
- ③参画のための社会環境整備

#### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	男女共同参画社会づくり推進事業	男女の役割を固定的に捉える役割分担意識を解消するための啓発・普及活動として、富山県男女共同参画推進員朝日町連絡会と共催し、男女、地域が協力して介護を行い、介護をする人たちが拘束されることがなく、より社会に参画できるようにと介護講座を開催しました。 ◆講座回数 3回 ◆参加者数 34人	24
②	朝日町男女共同参画社会づくり計画作成	また、「第3次朝日町男女共同参画社会づくり計画」の策定を目指し、計画の策定委員会、審議委員会を開催しました。 策定委員会3回(8/26、1/30、2/26) 審議委員会1回(3/25)	230
③	富山県男女共同参画推進員朝日町連絡会にて推進員の育成	男女が家事・育児・介護などを共に担う家庭内での共同参画を進めるとともに、地域においても男女が等しく意見を出し合い取り組む活動を推進するため、家庭や地域における実践的活動の中心となるよう、富山県男女共同参画推進員の育成を図りました。 定例会等 12回 広報誌「チャレンジ」の発行 1回	—

#### ■成果と課題

- ① 講座・講演会は日頃、男女共同参画になじみの薄い方に出席してもらうことを目的に介護講座を継続的に開催し、男女共同参画に対する啓発・普及活動を進めています。
- ② また、「第3次朝日町男女共同参画社会づくり計画」の策定を目指し、計画の策定委員会を3回、策定委員会で策定された計画を、町長よりの諮問を受け審議する審議委員会を1回開催しました。
- ③ 富山県男女共同参画推進委員は、任期1年目であり、毎月の定例会では、「男女共同参画」に関する学習及び、「介護」をテーマとして、介護講習を実施しました。また、県の事業にも積極的に参加され、共同参画の理解に努められ委員としての資質向上に努められました。女性の社会進出、少子・高齢化、家族形態や地域社会の多様化などが一層進み、社会を取り巻く環境は大きく変化をしています。しかしながら、男女共同参画のための社会環境については、依然として性別による役割分担意

識が社会慣習の中で残っており、こうした状況に対応していくため、今後も継続して男女共同参画を推進する必要があります。男女がともに個性と能力を認め合う「男女共同参画社会」の実現には、事業者、関係機関・団体、行政、そして町民一人一人が、その必要性を理解し、連携・協力しつつ、積極的な取り組みを進めていくことが重要であることから、意識、固定観念の把握し、町と町民、事業者等が一体となって取り組めるよう努めます。

#### IV スポーツ

##### ■施策目標

継続的に運動・スポーツに取り組める環境づくりに努め、総合型地域スポーツクラブの育成をはじめ、各種スポーツ競技団体の活動を支援し、生涯スポーツの推進と子どものスポーツ活動や競技スポーツの充実を図る。

#### 1 生涯スポーツ社会の実現

##### ■取組み概要

- ①健康スポーツの推進
- ②スポーツ指導者と組織の育成
- ③スポーツ情報の提供

##### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	地区体育大会(体育祭)開催補助	地域住民のスポーツ振興のため地区体育大会の充実を図りました。 10地区 7,141名	300
	三世代交流スポーツ事業	地域間・世代間のスポーツ交流の充実を図りました。 ◆三世代交流 10地区 1,557名	464
	町民大会等補助金	町民が積極的・主体的にスポーツに取り組む機会を確保するため、町体育協会にスポーツ大会事業を依頼しました。 ◆18種目 1,854名	1,250
	小学生地域スポーツ教室開催	スポーツ推進委員によるビーチボール教室を開催し、スポーツに親しむ機会の充実を図りました。 ◆1会場4回 参加者延べ41名	45
	いきいきスポーツサロン開催	スポーツ推進委員によるノルディックウォーク教室を開催し、スポーツに親しむ機会の充実を図りました。 ◆1会場8回 参加者延べ367名	3
	スポーツ大会開催事業	全国ビーチボール競技大会及び翡翠カップビーチボール全国大会を開催し、その普及とスポーツ参加の機会づくりに努めました。 ◆全国ビーチボール競技大会 357チーム 1,751名 ◆翡翠カップビーチボール全国大会 110チーム 556名	3,536
	ビーチボール普及活動	県内外へビーチボールの普及活動を行いました。 ◆日本ビーチボール協会 ・福岡県 春日市 ・静岡県 浜松市 ◆町スポーツ推進委員協議会 ・全国スポーツ推進委員研究大会にて、青森県青森市、奈良県橿原市・大和郡山市のスポーツ推進委員にビーチボールを紹介しました。	—
②	スポーツ少年団・指導者の育成	スポーツに親しむ子供たちの育成のため、スポーツ少年団の組織、指導者の育成や県外派遣等の支援を行いました。 ◆スポーツ少年団 12団体 163名	144
	スポーツ推進委員研修	地域のスポーツ指導者の育成・確保・活用を推進し、スポーツ推進委員の資質向上を図りました。	288
③	スポーツ情報の提供	町のスポーツに関わる情報を広報あさひ及びケーブルTVを通じて伝えるとともに、スポーツ教室の情報をチラシの作成とともにHPに掲載しました。	—

■成果と課題

① 地区体育大会（体育祭）には、町内10地区で延べ7,141人が参加し、各種目を通して競い合いながら、運動に親しむとともに、地域住民間の親睦を深める機会となりました。三世代交流スポーツ事業では、各地区で歩こう会やパークゴルフ大会、ビーチボール大会などが実施され、幼児から高齢者まで、世代を超えた交流が深まり、一体感や活力のある地域づくりが推進されました。また、子どもたちがスポーツに参加し、スポーツに親しむ習慣や運動能力を育むことをねらいとして、夏休みビーチボール教室や春休み小学生コーディネーショントレーニング教室を開催しました。スポーツが毎日の生活に定着するよう、今後も各種イベントやスポーツ教室の開催、支援に努め、健康スポーツを推進していきます。

冬期間の運動の機会づくりとして「いきいきスポーツサロン」を開催し、ノルディックウォークを中心に全8回のべ367名が参加しました。年間を通じて開催してほしいとの声もあがり、実現へ向けてひすいスポーツクラブとの連携に努めます。

第31回全国ビーチボール競技大会には357チーム、1,751名、第21回翡翠カップビーチボール全国大会には110チーム、556名が参加し、ビーチボール競技を通してスポーツに親しむとともに交流を深めました。

全国ビーチボール大会未参加地域にビーチボールの普及活動を実施しました。今後もビーチボール普及活動に努めます。

② 指導者の育成については、指導者の資質向上を図るとともに、新たな指導者の発掘に努め、研修の機会を設けるなど、スポーツの環境整備により努めていきます。

③ スポーツ情報については、広報あさひ、ケーブルテレビ、町HPを活用し、各種大会、スポーツ教室の開催案内を行っており、今後も住民の皆さんが興味・関心をもって主体的にスポーツ活動に取り組んでいただくように、情報発信の拡充に努めていきます。

2 スポーツの技術的な水準の向上。

■取組み概要

- ①優秀選手の育成・強化
- ②組織の育成

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	各種全国大会などの出場選手の派遣奨励	全国大会等出場者に激励金を支給し、積極的に派遣奨励を行いました。 ◆全国大会等 53名	355
	スポーツ教室の開催支援	JFA「夢の教室」の終了後、元Jリーガー式田高義氏による「サッカー教室」の開催支援を行いました。	—
②	スポーツ大会等の後援	競技力向上に向け、各種競技大会の後援を積極的に行いました。 ◆後援申請承認数 34事業	—
	町体育協会活動補助金	競技スポーツ団体育成のため町体育協会組織強化のための支援を行いました。	90

■成果と課題

① 競技力向上に向け、元Jリーガー式田高義氏によるサッカー教室に多くの中学生が参加し、一流のプレー、指導に触れました。今後もニーズに応じた講習会や教室

等を開催し、優秀選手の育成・強化に努めていきます。

さらに町体育協会、競技団体との連携をより強化し、積極的に大会の開催・誘致の支援を行い、これまで以上に小・中学生を中心に競技力向上への意欲が高まるよう努めます。

- ② 町内で開催される各種スポーツ大会の後援及び町体育協会への活動補助を行い組織の育成を図りました。

### 3 スポーツ環境の整備

#### ■ 取組み概要

- ① 拠点施設の整備・拡充  
② 総合型地域スポーツクラブなどの支援

#### ■ 主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	体育施設管理事業	朝日町文化体育センターの玄関前インターロッキング工事、3年計画で冷暖房設備維持管理工事などを行いました。 ◆サンリーナ利用者数 137,528名 ◆小丸山グラウンド利用者 501名	43,659
	学校体育施設開放事業	小学校2校、中学校1校において学校体育施設開放事業を行い、利用促進を図りました。 ◆21団体利用 ◆利用数：延べ1,126回 延べ21,066名	703
②	スポーツクラブ・サークル活動の支援(ひすいスポーツクラブ)	町民がいつでも、どこでも、体力やそれぞれのニーズに応じてスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブへ補助金を交付するなどの支援を行いました。 ◆教室・セミナー541回 6,789人 ◆サークル活動87回 956人 ◆イベント(大会)4回 291人	587

#### ■ 成果と課題

- ① 体育施設をより安全で快適に利用していただけるよう計画的に老朽化した設備について更新工事を実施しました。小丸山グラウンドにおいては、定期的にグラウンド整地及び除草を実施し、利用者の拡大に努めていきます。

学校体育施設開放事業は、それぞれ学校体育施設において町民の利用促進を図っています。学校開放の利用者は地区のスポーツ愛好者グループやスポーツ少年団などの団体で、さみさと小学校は14団体、あさひ野小学校は3団体、朝日中学校は3団体が利用されました。今後とも、引き続き学校や利用団体との連絡体制を保持し、町民が利用しやすい環境づくりに努めます。

- ② ひすいスポーツクラブでは、町民が手軽にスポーツに親しむことができる教室や事業を実施しています。クラブへの toto 助成が終了したことから、平成25年度から3年間、クラブの活動・運営に対して補助金を支出し、3年間でクラブが自立するよう支援していきます。

今後も町民のスポーツニーズを把握するように努め、クラブの教室や事業運営等に、適切な支援・助言をし、町民のスポーツ振興に寄与するクラブとなっていくよう努めます。

## V 文化

### ■施策目標

人々の価値観が物の豊かさから心の豊かさへ変化している中、町民の芸術・文化活動の振興や支援を行い、文化の香り高いまちづくりを進める。

### 1 芸術・文化施設の活用と充実

#### ■取組み概要

- ①文化体育センター・生涯学習館・ふるさと美術館の活用
- ②美術作品の収集

#### ■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	芸術・文化施設の活用	生涯学習館 絵画教室、俳句サークルなど芸術・文化活動の場となっています。 ◆利用者数 6,407人 ふるさと美術館 郷土出身の芸術家の作品をはじめとして、郷土にゆかりの深い芸術を中心に、優れた美術作品を紹介しています。 ◆観覧者数 5,786人	14,084
	常設展・企画展・特別展	芸術文化の拠点であるふるさと美術館では、館蔵展、企画展、郷土作家展等を開催して町民の芸術鑑賞機会の充実を図りました。 ◆館蔵品企画展 町に伝わる名品の美 4/26～6/8 ◆企画展 夢二からの贈り物 6/21～8/3 ◆特別展 パラレルネイチャー 8/13～9/28 ◆郷土作家企画展 土の匠 10/11～11/16 ◆企画展 昭和の光 11/29～12/23 ◆ふるさと美術館に年賀状を送ろう展 1/17～2/1	9,960
②	美術作品の収集	次の作品 2点の寄贈がありました。 ・谷口山郷 絵画 2点	—

#### ■成果と課題

- ① 文化施設の活用については、ふるさと美術館では、町内の保育所園児や小学生に年間を通じて同伴者1名も無料で美術館に来館できる「子どもパスポート事業」を実施し、観覧者数を増やすことに努めました。

今後も、地域に密着した施設としての活用を図ることが必要であり、文化・芸術の振興を推し進めるためにも、より一層の充実を図っていきます。

- ② 芸術振興の充実のため、郷土ゆかりの作家などの作品収集に努めるとともに、収蔵品の適正な管理に努めます。

### 2 芸術・文化活動の促進

■ 取組み概要

- ① 芸術・文化サークル・団体の育成
- ② 講座・講演会・美術展の開催
- ③ 芸術・文化情報の提供

■ 主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①②	朝日町美術展	町の芸術・文化の活性化を図るために、公募による第33回美術展及び小・中学校美術展をアゼリアホールで開催しました。 ◆10月31日～11月3日（4日間） ◆部門 「絵画」「写真」「書」「彫刻・工芸・デザイン」 ◆出品数 145点 ◆入場者数 2,094人	1,268
	講演会・美術展等の後援	芸術団体等の講演会・美術展等の後援を行いました。 ◆後援申請承認数 17事業	—
③	芸術・文化情報の提供	町の芸術・文化に関わる情報を広報あさひ、チラシ等にて行っています。	—

■ 成果と課題

- ①② 文化の香り高い町の実現のためには、町内の文化サークル・団体の活動を積極的に支援することが大切です。

34回目となる朝日町美術展には、145点の出品があり、2,094名の来場者がありました。出品数は平年並みでしたが、入場者数は、昨年より35人減小がありました。

また、昨年度に引き続き、同時開催しております小・中学校美術展を2階の展示から1階展示とし連帯化を図りました。

- ③ 町の芸術・文化情報については、マスコミや広報あさひ、ケーブルテレビなどを活用し開催の周知を図っており、今後も芸術・文化情報を提供していきます。

### 3 文化の保護と活用

■ 取組み概要

- ① 埋蔵文化財などの公開と施設整備の充実
- ② 文化財の調査・研究・保護・継承
- ③ 伝統芸能の継承と文化の創造

■ 主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	埋蔵文化財保存活用施設運営事業	朝日町埋蔵文化財保存活用施設「まいぶんKAN」では、朝日町で出土した土器、石器や農山漁村で使用された民具、下山新遺跡、境A遺跡、柳田遺跡等で出土した遺物の常設展示や、不動堂遺跡に関する企画展を行いました。「文化財バスツアー」、「不動堂なつまつり」、「縄文食堂」などのイベントを開催するとともに、通常体験として、勾玉作り・火起し、錫アクセサリーなどの体験教室を行いました。 ◆観覧者数 2,428人	6,295

		◆体験者数 627人	
②	文化財の管理・保護	文化財の管理・保護事業として次の事業を実施しました。 ・指定文化財所有者への文化財保護管理交付金の交付 30件 ・指定史跡の草刈、清掃 ・不動堂遺跡管理 復元住居建物薫蒸、周辺立木剪定、芝刈り等	882
	指定文化財標柱整備工事	「妙林寺のサルスベリ」、「宮崎鹿島樹叢」、「小川元湯の石灰華」の3つの指定文化財の標柱を整備。	94
	国指定史跡不動堂遺跡保存整備工事	国指定史跡「不動堂遺跡」の公園内にある焼失した第1号復元住居について、再建工事を行い、文化財公園の環境を補修整備するとともに、大切な観光資源の保存を行いました。	7,964
	文化財看板改修工事	看板の錆や柱の腐りが激しかった県指定史跡「宮崎城跡」の「宮崎城配置図看板」を撤去し取替えました。	719
	境関跡池補修工事	池の水漏れや、池法面の崩れが発生し、周囲の樹木に影響を及ぼしていたので、池の水漏れ補修と法面の補修を行った。	1,609
	文化財の調査	・試掘調査 下山新遺跡 役場園地遺跡	166
	文化財の周知と活用	児童生徒の文化財に関する関心・教養を高めるため、富山県埋蔵文化財センター事業「ミニ考古学博物館」事業を両小学校で実施し、児童が本物の土器に触れる等、自分達の地域にある遺跡について知る学習を行いました。 ◆実施日 さみさと小学校 10月28日	—
③	あさひ芸能文化祭	朝日町の芸能・文化団体が、文化体育センターに一堂に会し日頃の練習成果を発表しました。 ◆実施日 11月2日 ◆出演者数 17団体 観覧者数 1,970人	114

## ■成果と課題

- ① 埋蔵文化財保存活用施設「まいぶんKAN」運営については、「あさひの民具展」（4月から7月）や「見聞不動堂遺跡」（7月から9月）の企画展と常設展示を行いました。また、イベントとして「文化財バスツアー」、「不動堂なつまつり」や「縄文食堂」などを実施したほか通常体験として勾玉づくり、火起こしなどの古代体験を年間通じて実施し、なないろKAN・百河豚美術館・まいぶんKANの3館コラボ企画として、共通フリーパスを発行し、利用者の増加に努めました。

今後も、新たな企画展や体験メニューを企画するなど内容の充実を図るとともに、広報やホームページなどを通して情報提供を盛んにして、利用者の増加に努めていきます。

- ② 文化財の管理・保護については、指定文化財標柱整備工事、文化財看板改修工事、境関跡池補修工事、町指定文化財保護交付金の交付、不動堂遺跡公園の保全・修繕などを実施しました。

文化財の調査については、埋蔵文化財の試掘調査を2件行いました。

さみさと小学校6年生を対象に富山県埋蔵文化財センター「ミニ考古学博物館」事業を実施し、遺跡から出土した土器や石器を実際に「みて、ふれて、学ぶ」といった五感を使っての体験が、歴史や埋蔵文化財に興味や関心を持つ機会となりました。

- ③ あさひ芸能文化祭は、町内の伝統文化を継承する団体や芸能サークル等の団体が一堂に会し日頃の活動の成果を発表する場として、多くの住民の来場をいただいております。今後も新規団体の発掘や観客数増員も含めて、よりマスメディアを積極的に活用するなど、創意・工夫を図っていきます。

## 4 学識経験者意見

### ○ 家庭・地域教育

- ・ 「子どもの居場所づくり」事業で、宮崎地区が9名の登録で五箇庄地区が35名の登録であるが、1日当たりの利用者数が、宮崎地区2,53人、五箇庄地区2,25人となっている。単なる地域性（五箇庄地区は赤川から桜町までと広い）が原因なのか分析する必要があると考える。仮に利用しにくい要因があるなら是正する必要がある。
- ・ 住民・子ども課主管の児童館の運営状況に関して、教育委員会が支出していないので抜けている事は理解できますが、児童の放課後の姿がこの報告書では見えてこないで、住民・子ども課主管の関連項目は別表に分離して合わせて表現したらいかがでしょうか。
- ・ 「放課後子ども教室」「子どもの居場所づくり事業」などの学童保育の充実には親世代の働く環境と大きく関わってくることで、更なる発展が求められる。子どもたちが積極的に参加できるよう工夫が必要である。また親への教育もかかせない。ゆとり世代が親となってくるので、大人になりきれない親が増えないとはいえない。世間では虐待により幼い命が奪われるというニュースをよくみる。子育てしやすい環境を整えるのと同時に親への教育もまた必要と思われる。

### ○ 学校教育

- ・ 平成10年の朝日町の児童数は約940人であった。平成27年は480人である。およそ半分に減っている。先に発表された国勢調査の速報値では、朝日町の前回と比較した人口減少率が10%を超えていた。5年前の調査では今後の減少を7%程度とみていたことを考えると、現在1年間の朝日町の出生数は50人前後であるが、予想を超える速さで児童数が減少していくものと思われる。

なかなか住民の感情もあって言い出せない問題ではあるが、今からさらなる児童数の減少を見越して、今後の学校の在り方を考えておくべきではないかと感じる。有識者会議や研究会のようなものを設け、将来的なビジョンを作っていく必要を感じる。

- ・ 朝日町はスタディ・メイトを多数配置し、英語の非常勤講師の配置にも力を入れている。英語に関しては、あさひ野小とさみさと小ともに同じ講師であることから両校とも同じカリキュラム・指導法のもとで児童が学習できるため、中学校へ行った時の差がなく、その積み上げのもとに中学校での英語学習ができるというよさがある。朝日中の英語の学力が高いことにもそのことが表れていると思う。他にも体操服の支援、図書館司書、校務支援員の配置など、他地区には見られない学校教育への手厚い支援がなされている。こうしたことをもっと町民にPRして、子育て、教育に優しい町であることを特に若い世代に知ってもらふ努力が必要なのではないかと思う。

また、意外に知られていないのが、スクールバスを使った校外学習である。朝日町では、実際に地域に出て、地域の自然、人、ものと触れ合い、地域から学ぶことがどの学校でも当たり前のように行なわれ成果を上げている。他地区ではこうしたことはやりたくてもほとんどできない。体験を通して学べる環境、実際に地域にでて地域のよさを学ぶ郷土教育、こうした教育環境のよさをもっと自信をもってPRしてほしいと思う。

- ・ 教育では不易と流行ということがよく言われるが、不易を大事にしつつ流行も積極的に取り入れていく姿勢が必要と考える。現在、ドイツのインダストリー4.0に代表されるように、第4次産業革命が進行している。AI、IoT、BigData、Robot・・・など、技術革新は予想を超えるスピードで進化している。先に、野村総研は今後10年から20年の間に、日本においては49%の職業が機械や人工知能に代替されるという予測を出している。子供たちが大人になった時、今の仕事の半分は人を必要としない状況になっているかも知れないのである。2045年のシンギュラリティ(Singularity)についても真剣に議論される時代である。そうした世界の大きなうねりを見据えてアメリカではすでに数年前からSTEM教育に予算を投入している。

これから訪れるこうした時代に生きていくために子供たちに必要となる能力は何なのか

議論を深め、目先だけでなく、一步先を俯瞰した教育も大事なのだらうと感じる。

- ・ 都市部とは違う教育環境の特性を生かす事は大切であり、いずれ大多数の児童が都市部での生活をするようになりますから情報環境の激変に伴う危険性にさらされます。スマートフォン等IT教育の充実にも更なる施策を希望いたします。
  - ・ 昨年も言及しましたが、マイナス評価（不登校、校内暴力、不適切指導）等、「いじめ」以外も敢えて公表されればと思います。
  - ・ 朝日町における少子化は歯止めがかかる様子はない。これから先を見越した対策が必要である。スポーツ分野はもちろん、あらゆることに目を向け、支援していくことが大切である。
- 生涯学習
- ・ 新しい図書館が開館して来場者が3倍になり喜ばしい事と思います。さらに一層の魅力ある図書館、文化の中心になるような存在に成長する事を祈念いたします。
  - ・ 図書館の来館者数は増えているようだが、さらなる創意工夫が求められる。利用者の声に耳を傾け、一方的なサービスにならないようにしなければならない。本の充実はもちろん、利用しやすい図書館であってほしい。
- スポーツ
- ・ ネンリンピックの参加競技に「ビーチボール」を加えて2018年度の「富山大会」に当町で主催できるように運動を起こしてもらいたいと昨年同様希望する。
  - ・ これからの時代は健康寿命を延ばしていくことが求められる。ハードの部分の施設の充実と共にソフトの部分である指導者の発掘や資質向上は欠かせなくなる。
- 文化
- ・ スポーツで活躍する人材ばかりが注目されるが、文化の町と称する朝日町である。文化的活動で秀でた才能を発揮する人材にも激励金を授与してもよいのではないか。
  - ・ 町民の財産である文化財の調査、研究、保護、継承に継続して支出がなされており、上記の様々な活動に取り組んでおられる事は高齢者にとっても嬉しい事で、高く評価される。総合政策の1つ「町への流れをつくる、町に人を呼び込む」にも下支えとなる重要な活動だと思われ、さらに他部門と連携して充実、重点投資をして欲しい項目である。
  - ・ 様々なサークル活動は生活を豊かにする。高齢化がますます進む朝日町において町民がいろいろな場面で楽しんで参加できる活動を発展・充実させていくことは、町全体の活性化につながると思われる。